

## H19.7.9 設楽ダム魚類検討会（現地視察会） 議事概要

日 時：平成19年7月9日（月） 9時30分～18時00分

議事概要：

表 H19.7.9 設楽ダム魚類検討会（現地視察会）の議事概要

議事項目	議事内容	委員の主な意見	意見に対する回答
1.魚類検討会の経緯について	・過去の検討経緯について確認した。	・特になし	・特になし
2.ネコギギの保全に関わる調査・検討方針について	・ネコギギの保全に関して実施している調査・検討の方針を提示した。	・「ネコギギ保全策の確立」について、そこに至る詳細な整理を行って欲しい。 ・具体的には、「移植」がポイントとなるため、その議論が可能な情報を整理すること。	・事務局：ダム事業に関して保全のオプションを挙げる。また、それぞれのオプションについて、どういうことを明らかにしておかなければならないか、段階ごとにチェックすべき項目を整理する。なお、段階の整理に関しては、こう進むという枝分かれフローで作成する。
		・「移植」そのものの議論はしていく必要がある。	・事務局：移植の手法、時期、場所等について詳細手順を整理し、今後の議論の材料とする。
3.平成19年の野外実験計画について	・平成19年度の野外実験の経過と今後の計画について説明した。 ・豊川で確認された黄色個体の取り扱いについて事務局案を提示した。	・黄色個体は豊川集団の特徴であるとはどういうことか。	・事務局：豊川の中で遺伝的に固定されており、多く出現する状態が普通と考えられる。
4.支川における野外実験計画について	・支川における野外実験候補地の現地視察を行った。 ・支川における野外実験の調査計画、検討計画について説明した。	・支川における短期的な実験と長期的な移植とは考え方が異なる。分けて考えていく必要がある。	・事務局：実験と移植に対するスタンスを明確にし、それに基づいた実験計画とする。
		・支川における移植の実現性が判断できるような調査、検討を行うこと。	・事務局：提案した調査計画の実施、環境整備の実効性の整理を行っていく。
5.平成19年度のモニタリング計画について	・平成19年度のモニタリング計画について説明した。	・特になし	・特になし
6.遺伝的解析の計画について	・遺伝的解析の計画について説明した。	・特になし	・特になし
7.人工水路実験計画について	・人工水路実験の計画について説明した。	・この実験でどういうデータが得られるか、どの様な解析を行うか、サンプル等、想定できるものを作成すること。	・事務局：室内実験により得られるデータおよび解析手法について整理する。
8.ネコギギの保全検討に関する公表資料について	・ネコギギの公表資料について、ねらいと構成案を説明した。	・情報公開に対するルール、枠組みを整理すること。	・事務局：情報公開ルール（データクレジットをどう考えるのか、誰が著者として連名するのか、公表と保全（密漁防止）を図るためにどのような規定が必要になるのか）の案を作成する。